

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第3区分

【発行日】平成21年3月12日(2009.3.12)

【公開番号】特開2006-212770(P2006-212770A)

【公開日】平成18年8月17日(2006.8.17)

【年通号数】公開・登録公報2006-032

【出願番号】特願2006-5642(P2006-5642)

【国際特許分類】

B 8 1 B 3/00 (2006.01)

G 0 1 J 5/40 (2006.01)

【F I】

B 8 1 B 3/00

G 0 1 J 5/40

【手続補正書】

【提出日】平成21年1月9日(2009.1.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

上面を有する基板と、

前記上面に回転可能に接合され、加熱されることに反応して屈曲するように構成されたバイモルフ部を有する、1つまたは複数の棒材と、

前記上面に回転可能に接合され、前記1つまたは複数の棒材に実質的に不可動に接合されたプレートとを含み、

前記1つ又は複数のバイモルフ部が加熱されることに反応して、前記プレートが前記上面からさらに遠ざかるように、前記1つまたは複数の棒材およびプレートが構成される装置。

【請求項2】

各棒材の一端が、前記基板に接触する第1のタイプのヒンジに接続され、前記プレートが、前記基板に接触する第2のタイプのヒンジに接続される、請求項1に記載の装置。

【請求項3】

前記第1のタイプのヒンジが、前記第2のタイプのヒンジとは異なる軸を中心に回転する、請求項2に記載の装置。

【請求項4】

前記基板上に配置され前記プレートに面する導電性プレートをさらに含み、これら2つのプレートが、コンデンサのプレートを形成する、請求項1に記載の装置。

【請求項5】

前記プレートが、前記棒材の少なくとも3倍の幅を有する、請求項1に記載の装置。

【請求項6】

前記ヒンジが、板ばねである、請求項2に記載の装置。

【請求項7】

前記プレートを前記第2のタイプのヒンジに接続する1対の棒材を、前記プレートがさらに含む、請求項2に記載の装置。

【請求項8】

上面を有する基板と、

連動する第1のヒンジによって前記上面に回転可能にそれぞれが接合され、加熱されることに反応して屈曲するようにそれぞれが構成された、1つまたは複数の第1のバイモルフ棒材と、

連動する第2のヒンジによって前記上面に回転可能にそれぞれが接合され、前記1つまたは複数の第1の棒材のうち1つに実質的に不可動にそれぞれが固定された、1つまたは複数の第2の棒材と、

前記1つまたは複数の第1の棒材のうち1つに実質的に不可動に固定された第1のコンデンサ・プレートと、

前記第1のコンデンサ・プレートに面し、前記上面に不可動に固定された第2のコンデンサ・プレートと

を含む装置。

【請求項9】

前記1つまたは複数の第1のバイモルフ棒材が加熱されることに反応して、前記第1のコンデンサ・プレートが前記上面からさらに遠ざかるように、前記棒材が構成される、請求項8に記載の装置。

【請求項10】

前記1つまたは複数の第1のヒンジが、前記1つまたは複数の第2のヒンジが回転する前記1つまたは複数の軸から異なる1つまたは複数の軸を中心に回転する、請求項8に記載の装置。